

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光・まちづくり分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
奈良公園観光地域活性化総合特区 (奈良県)	3.4	3.4 進捗度 ・奈良市の観光入込客数の増加 79% ・奈良市の宿泊者数の増加 83% ・奈良市の観光消費額の増加 77% 等	3.5 地域独自の取組 ・創業支援資金 ・宿泊施設の新設、増設にかかる 税制優遇 等	3.3	<p>・地域通訳案内士の育成やトイレ整備、鹿苑の整備や春日山原始林における外来種の伐採等の地道な取組を継続する一方で、インバウンドに加え、富裕層をターゲットとした宿泊施設の改修を始めとした攻めの姿勢は評価できる。</p> <p>・標榜する滞在型観光の推進に当たっては、宿泊を促す朝晩の観光コンテンツの開発やDXの活用による奈良公園のエンタテイメント的な見せ方、SDGsを意識した公園としての体験価値創出など、より積極的でイノベーション的な戦略に基づく取組を期待したい。</p> <p>・イベントに頼るのではなく、まちそのものの楽しみ、あるいは観光資源の魅力やそれを体験することによって多くの時間を必要とすることこそ真の滞在型観光を実現することにつながる。どのような観光体験を提供し、滞在の長時間化を実現するか、このことを市、地元関係者、民間などと連携しながら進めていただきたい。</p> <p>・総合特区の規制の特例措置や支援制度を十分に活用できていないように見受けられ、今後の更なる工夫を期待したい。</p>